

まち運営会議(第137回)議事録(概要)

令和5年6月22日 18:30～20:10

自由が丘エヌケービル3F

議長 卯月盛夫

議題

1. 報告: 駅前公衆喫煙所の撤去工事について (2)
目黒区環境保全課
2. 報告: 自由が丘駅周辺地区都市基盤整備構想について
目黒区地区整備課
3. その他

資料

1. 自由が丘駅前の屋外型公衆喫煙所の撤去工事について
2. 自由が丘駅周辺地区都市基盤整備構想 概要版
3. チラシ: 自由が丘盆踊り大会

(資料1、2、3のpdfファイルを議事録概要とともに、まち運営会議のホームページに掲載します。)

●代表 目黒区商工会議所などが入っている区民センターの改修工事が近づいている。ほぼ同じ時期にマサチューセッツ工科大学を目黒区と渋谷区にまたがる地域にもってくるという話を聞いた。ともに令和9年から10年に完成予定である。大きなすばらしい影響があるだろう。自由が丘もこれまでの歩みをきっちり進めて地域や文化の発展等にも寄与したいと思っている。

●議長 第137回の自由が丘のまち運営会議を始めます。次第のその他のうち1つを先にします。

●振興組合・田中 お配りしたチラシにあるように、これまでより早い時期に盆踊り大会を実施する。曲目も若干変更する。踊り方はyoutubeで見られるようにした。好評の踊りコンテストは中日の16日に行う。初日以外は子どもの踊る時間の前に、縁日に模した子ども広場を計画している。みなさんも楽しんでほしい。

●議長 ありがとうございます。

1. 駅前公衆喫煙所撤去工事について

●環境保全課長 公衆喫煙所撤去工事の具体的内容が決まったので情報提供させていただきます。(詳細は添付する資料を参照のこと。) ①工事前半(6/18-6/30)の内容:パーティションの切断、基礎部分及びフラワーポットの撤去等。夜間工事(22時-翌朝6時頃)で歩道は仮柵を設置して歩行者の安全通行を確保する。作業時間帯の車道は通行止めにし、車を迂回路に誘導する。②工事後半(7月上旬、8時頃-18時頃)の内容:ガードパイプ、ヤマボウシの植栽及び植栽帯の復旧。歩道は仮柵を設置して歩行者の安全通行を確保する。車道は通行を確保する。小雨なら工事をする。

●車の迂回路はどこになるか。

●課長 メイプル通りで白樺通りは使わない。

●資料の原状写真にゴミ箱があるが、ゴミ箱は要らないのではないか。

- 課長 ゴミ箱については持ち帰って調べて見る。(＊ゴミ箱でなく吸い殻入れであったので問題なし。)原状写真でもわかるが植栽帯にガードパイプはなかったが、警察から必要とされたので設置する。
- 議長 自由が丘は車止め(ボラード)で対応してきたが、ガードパイプは必要だろうか。
- 課長 別紙2の写真に茶色のガードパイプが映っているが、これを延長することになる。原状ではないが安全面ばかりでなく、植栽を痛めないと思われる。ヤマボウシを植えた後でツリーサークルを被せる。
- かつてそこにあったツツジは元気がなかった。環境に合ったものがよいのではないか。
- 課長 植栽に関してロータリーの周りはツツジでどれも元気である。元気がなかった原因はわからないが道を渡る人に踏まれたことも考えられる。振興組合さんとも話し合い、ツツジにするかどうか決めたい。
- 議長 よろしくお願ひします。ありがとうございました。

2. 自由が丘駅周辺地区都市基盤整備構想について

●都市基盤整備調整担当係長 自由が丘駅周辺地区都市基盤整備構想はお配りしたA3の資料で説明する。本編は70ページ弱の冊子であるが少数つくただけで、区役所と自由が丘住区センターで閲覧できる。区のホームページにも載せてある。行政計画として行政が主体となって、道路、鉄道、駅前空間の将来的な整備構想を令和5年の4月に策定した。(以下、資料にそって丁寧な説明があった。)

この整備構想は自由が丘にフォーカスを絞った部分と、世田谷を含む周辺部を考慮した大きな視点での部分が混在しているが、近い将来の流れを考えて策定した。

- 議長 ありがとうございます。
- 2ページの右上の表に関して質問したい。道路ネットワークの構築の所に都市計画道路補助207号線と補助208号線の整備が記されてあるが、この道路は住宅地の中を通るので強い反対が予想される。都や区はそれでも整備をするつもりか。
- 係長 この2つの道路は世田谷区にまたがっていて、世田谷区が大部分を占める。この都市計画道路は計画が作られてから随分と時間がたち、現在それが必要かどうかは検討会でも議論があった。両区とまちな人たちと対応を検討したい。鉄道の立体化には道路との関係もあり、車両が円滑に通れるように踏切をなくすという考え方がある。今までの事例では鉄道の上げ下げと道路の整備はセットで行われていることが多い。区は2つの道路の整備を進める方向性を持っているが、実際にはすごく難しいと考えている。
- 207号と208号も大きく見ると延焼遮断帯としての意味があると思うが、道路に沿った現状の建物は耐火がなされているものが多いので、この点からも検討をお願いしたい。道路と鉄道の立体化の所で、東横線と大井町線が挙げられているが、工事は同時に進めるのか。大井町線は等々力駅付近からの工事になり、世田谷区側の対応に時間がかかるかもしれない。東横線はかさ上げするなら、早くできるかもしれない。この点の検討はどうかされているのか。
- 係長 東京都が平成16年に作成した「踏切対策基本方針」には、この2つの鉄道がセットで挙げられているため、都市計画決定は同時にすることを目指している。ただ、工事に関しては順番もあるだろう。
- 駅の東西南北が一体となった駅まち空間の構築の所で、「駅まち空間」とは駅と広場と鉄道に沿った街区と道路と考えられるが、それでよいか。
- 係長 よい。
- 駅は東急電鉄、広場は区、鉄道に沿った街区は民間が担当すると思われるが、その達成のための連携についてはどうなるのか。

- 係長 これは構想なので具体的にどうするかは決定していないが、構想本編に各取組内容に対して大まかな役割分担の記載があるので、ご覧いただければと思う。
- デジタルインフラの導入の所で、都市空間情報のデジタル化と記されてあるが、この情報は具体的にはどのようなものか。
- 係長 本構想の中では AI カメラ、Wi-fi、PLATEAUなどを挙げている。再開発ビルを含むまちの建物やその配置、土地利用、防災などの情報で、これらを PLATEAU に入力して仮想空間での 3D 都市モデルを作って、まちの現状を知り、シミュレーションも可能になる。
- 2 ページの左下の図で、自由通りが都市計画道路を補完する 2 車線道路として青色で示されてあるが、目黒通りと交差する手前でとても狭くなっていて歩行者も車も危険を感じる地点である。これにはどのように対応するのか。
- 係長 自由通りは都道で、目黒区で直ぐに対応できないが今後都にも伝えていく。しかし、自由通りと東横線の踏切部のクランクを解消することはこの整備構想に明記されているので、この狭隘箇所も解消する方向で都と話し合っていきたい。
- 1 の背景と目的の所に体制とあるが、どのような人がどのように検討したのか。本編やホームページで知ることができるか。
- 係長 本編に記載がある。鉄道事業者は東急電鉄、都市開発事業者は東急である。今後の進め方として、駅前広場の検討は今年度から実施する。鉄道の立体化や駅前の再開発を見据えた駅前広場整備の方向性について、この体制にあるメンバーで検討する。道路ネットワークの構築に関しては、世田谷区と目黒区で検討する。
- この検討会に座長として松谷さんがいる。自由が丘のランドデザイン策定の座長だった日大客員教授で、国交省の鉄道行政に詳しい役人だった方である。
- 柏木 区はそういうことも考慮してほしい。
- 区のホームページを見ると、鉄道立体化について 10 数年前に精力的に検討されたが、それとの関係はどうなっているのか。
- 係長 平成 18 年頃、鉄道立体化を目指す動きがあった。そのときなぜ実現しなかったかは不明である。今回は地元のまちづくりの機運が高まっているので、まちと一緒に鉄道立体化を目指すという意味では平成 18 年の頃と同じである。この整備構想には大小いろいろな取組が記されてあるが、本編では誰がいつ取り掛かるか、役割分担とスケジュールを入れてある。
- まち構造研究会では、この構想が実現される途上の段階で、まちが何を必要とするかを話し合っている。
- 議長 この構想の内容についてはこれまでも議論してきたので問題ないと思う。取組が達成される前に、長期的な見通しを持って何をするか検討することは大事だと思う。自由が丘に関係する都計道の見直しもしてもらいたい。学園通りと自由通りを 2 車線で歩きやすく改善することに予算を使う方が有効だと思う。
- 係長 道路ネットワークを数字で検討することを考えている。都計道の 4 本が整備されたら車の流れはどうか。207 号や 208 号がなかったらどうなるか、今年度から検討を進めたい。
- 2 の市街地・土地利用面の課題に、良好な住環境の確保と記されてあるが、これは何を意味しているか。
- 係長 住宅地の中には細い道が多い。抜け道として車が入り込んでくるので、住民の安全や騒音の面で住環境に課題があるとしている。その解決のために都計道や現状の 2 車線道路を整備しましょうという方向で整理している。

- いま住宅地では宅地分割で敷地一杯に建ててみどりも少なくなり、良好な住宅地が崩れようとしている。こういう問題も取り上げてほしい。
- かつて 207 号、208 号が追加された経緯を知っているが、この 2 つが現状でふさわしいかは疑問である。学園通りと自由通りの改善に努めた方がよいと思う。
- 係長 都心部の一般道路では全体的に車の通行が減っていることも考慮して、自由が丘の道路ネットワークの構築を検討したい。検討会の松谷座長も学園通りと自由通りの活用を考えておられる。都ともしっかり話していく。
- 議長 この問題はこれからも検討が続くと思う。それと初めて聞いたが今年度から検討が始まる駅前広場についても適当な時期に途中段階の検討内容を報告してもらいたい。ありがとうございました。次に、駐車場地域ルールの進捗状況について説明してもらいます。

3. その他

- 自由が丘地区担当係長 いま駐車場地域ルール策定協議会では「自由が丘駅周辺駐車場地域ルール」を検討している。協議会委員より、限られたメンバーで検討しているのでより広い方々に知ってもらう必要があるという意見もあり、ルールの素案について特に地域のテナントをはじめ影響を受ける方々などに対して、ルールの内容を説明する地域の説明会を開催する（7/21（金）18：30～ 緑が丘文化会館）。また、7/21 から 1 か月間で意見募集をする。それらの意見を踏まえて地域ルールを策定する。7/27 のまち運営会議でもルールの素案を説明する予定である。6/14 には議会の都市環境委員会で素案を説明した。いくつかの新聞社の取材があり情報提供した。建設通信新聞(6/16)の紙面に載った。策定協議会は年内にも駐車場地域ルールをまとめ、運用体制の調整をして、令和 6 年 4 月からの運用開始を予定している。
- 議長 この駐車場地域ルールは附置義務台数の緩和やウォークアブルなまちにする内容なのでこれまでと大きく変わる部分がある。7/27 のまち運営会議の主要な議題になるので、ぜひご出席してご意見をください。その次は 9/28 です。これで本日の第 137 回まち運営会議を終了します。ありがとうございました。